

ひろがる、ちちぶ

VOL. 2

2025年6月発行

秩父市ふるさと納税返礼品提供事業者さんにインタビュー《ヒト・モノ・コト便り》

私が
お届けします！



地域おこし協力隊
ふるさと納税担当 那賀

事業を始めたきっかけ

30歳の時、小笠原村商工会の経営指導員として小笠原へ赴任しました。そこではエコツーリズムの先駆けとして、日本で初めてホエールウォッチングを事業化したんです。その後、34歳、64歳までカー用品のメーカーに勤務しました。37歳の時にドイツからカナディアンカヌーを輸入して、サラリーマンをやリながら、週末は埼玉県寄居町にある玉淀湖のほとりに、「自然共生クラブ木霊舎（こだましや）」というプライベートなカナディアンクラブを作ってアウトドアを楽しんでいました。他には北海道や青森、秋田、福島、長野、山梨、群馬など様々な湖でカナディアンカヌーを満喫していました。

64歳で会社を辞めて、これからはもうお金じゃないなと思つて笑。体力増強と健康増進のためにも、何をしようかなと考えていた時に、浦山ダムの「秩父さくら湖」に出会いました。当時秩父市ではカヌーの事業を誰もやっていなかったんで、ここで事業をやろうと思ひ立ちました。横瀬町に古い友人がいて、足しげく秩父には通っていたので秩父のことは知っていました。秩父さくら湖でカヌーができるということはまたま知ったんです。荒川ダム総合管理所に話をしたらすんなり許可が取れて、2020年10月に会社を設立し、2021年4月に事業をスタートしました。

コンセプトは「湖上で自然とひとつになる」

自然に囲まれた湖上でお客様が直接体験し、感じることで初めてこのコンセプトが伝わらると思つていて、そういう場を作りたいです。喜んでもらえたらと思つています。ダム湖なので人工的なものもあつて、自然だけでなくダムの役割も含めてガイドをしています。まさに五感で感じる自然体感ツアーです。

秩父さくら湖は約1億5千万年前のチャート岩盤に囲まれています。こんな環境はなかなかないですよ。迫力も凄いです。湖から見えるチャートはとても珍しいんですよ。

地元の人でも、浦山ダムはわかるけれど秩父さくら湖は知らない人が多いんです。でも、少しずつですが地元の人にもさくら湖の素晴らしさを感じてもらえるようになってきました。何よりカヌーに乗って喜んでもらえることが一番の原動力になっています。



風の谷 秩父さくら湖の自然体感ツアー



Enjoy 秩父さくら湖 (浦山ダム) カナディアンカヌー 自然体感ツアー



●開催時間

【午前の部】 9:30～12:00 (4月～11月)

【午後の部】 13:30～16:00 (4月～11月)

【冬季期間】 10:30～13:00 (12月～3月)

レギュラーシーズン

●料金

【シングル艇】

2名1組 7,500円(税込) / 1名

おひとり様 12,000円(税込) / 1名

(ガイド同乗)

【カタマラン艇】(双胴船仕様)

大人 8,000円(税込) / 1名

小学生 4,000円(税込) / 1名

幼児 3,000円(税込) / 1名

ペット 3,000円(税込) / 1匹

(愛犬・愛猫)



水に携われる喜び！

小笠原のときからサラリーマン時代までずっと水に携わってきました。秩父の山や森に囲まれながら、今もこうやって日常的に水に携われるのはありがたいです。やっぱり秩父は水がいいなと感じますね。美味しいです。



ゴミゼロ運動！



2年前から、湖を管理している水資源機構さんとコラボして、湖のごみ拾いを行っています。いつも湖を使わせてもらっているの、地域の方とも協力し合つて、カヌーやサップを使ってボランティア活動を行っています。

カナディアンカヌークラブ



埼玉県秩父市荒川
上田野205

ご予約はこちらから



公式HP



公式Instagram

今後の展望

2025年の春からサップ(SUP)も始めたので、より幅広いゲストに来てもらえればと思っています。同じグループでも、カヌーとサップに分かれて遊べるし、午前はカヌーで午後はサップなど、色々なバリエーションを楽しめます。スタイルに合わせて、アウトドアを楽しんでもらいたいですね！

※サップ (SUP) とは？

スタンドアップ・パドルボードの略で、その名の通りボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいくウォーターアクティビティです。

楽しそう！



秩父はどんな街？

歴史や文化も深くて自然が豊富です。最近では面白いお店が増えてきて、新しい息吹を感じられるのがいいですね。これからもっと面白くなっていきそうな街だと思います。



◆ 事業を始めたきっかけ ◆

20代の頃は自動車メーカーに勤めていました。若い頃はいろんなことに気が向くし、自分の生き方を模索していた時期もありましたが20代後半になって、何か「夢中になれるもの」を見つけたと思ったんです。もともと陶芸とかものづくりに興味はありましたが、自分でやろうとは全く思っていなくて。でも、探していくうちにガラス工芸の世界に辿り着きました。

30歳で何も知らない、何もできない者を受け入れてくれるところはありませんでしたが、ひとりのガラス職人さんとの出会いをきっかけに福岡のガラス工場へ受け入れてくれることになりました。そこから愛知、北海道へと移りました。でも、34歳の時に北海道の工場が突然閉鎖になってしまったんです。そのとき、もう独立せざるを得ない状況で、覚悟を決めましたね。結婚を機に秩父へ移住して仕事の準備に入りましたが、試行錯誤の日々でした。

仕事を始めてからはいろんな縁があつて、面白いことにどんどん広がっていったんです。出会いや感性に導かれるように自分の作品が生まれていきましたね。



ガラス工芸作家
濱口義則さん
はまぐちよしのり
お話伺いました！



ガラス工房葦路 濱口義則さん

ガラス工房

製作への想い・こだわり

ガラスって「光」だと思ふんですね。光の美しさや優しさを表現したい、そういう気持ちで作っています。ガラスと毎日向き合っていて思うのは、深い透明感とその質感が素晴らしいということ。手触りとか、なんとも言えない質感があるんです。ガラスの中にはプラスチックのような質感のものもあるけれど、それとは違って、僕が思っているのは大理石のような質感なんです。

美術工芸品ではなく道具としてものを作っているの、手になじむもの、感じるものを大事にしています。例えば、このグラスで飲むと「水がうまい」とか「酒がうまい」とかね（笑）。見て触って愛おしいと思うもの、人の心を動かすものを作ろうと思っています。繊細なガラスですが、できるだけ丈夫で長く使っていたできるよう心がけています。

葦路

今後の展望



思い出に残る出来事

ものづくりの喜び

やはりお客様に褒められると嬉しいですね。時々お客様に声を掛けられて、嬉しい言葉をいただくことがあります。すごく喜んで使ってくれているのを知ると、嬉しい気持ちになりますね。「もの」を通してそういう風に思ってもらえるのはやっぱり嬉しいです。

作品紹介



グラスのほかに花瓶や器も製作！

ガラス工芸 豆知識！

・とにかく「間が大事！」です。流れるように仕事をしているけれど、すべて「間」があるんです。間が悪いと上手くいかない。ガラスが変化していく状況を感じ取りながら、温度を見極めて判断しています。

・溶けたガラス素材はとても繊細なので、こちらの気持ちや体調を整えて向き合えないと応えてくれない。ガラスは仕事を教えてくれ、生き方まで教えてくれます。ガラスをやるようになって随分真面目になった気がします。



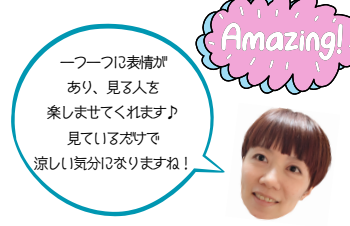
ガラス工房 葦路
濱口 義則
公式インスタグラム
@hamaguchiyoshinori



Instagram

秩父はどんな街？

秩父に来たばかりの頃は「花と虫」でした（笑）。自然の中にたくさん花や見えない虫がいっぱいいるなと感じていましたね。30年経って思うのは、山々と清流の良さ！あとは神社やお寺の存在ですね。いろいろなロケーションがあつて、佇まいも素晴らしいです。歴史も含めて秩父の魅力です。あと一つは、何と言っても「人」です。何も知らないころに来て30年やってこれたのも、人の助けがあったからこそだと思っています。



一つ一つは表情があり、見る人を楽しませてくれます。見ているだけで涼しい気分になりますね！

Amazing!

こちらのグラスはふるさと納税の返礼品にもなっています！